

### 上手に磨けるようになりまし 歯磨き教室



歯磨き指導を受ける、二部保育園の園児

## まちのわだい

園児を対象とした歯みがき教室が、町内全ての保育所で実施されました。  
この歯磨き教室は、園児に正しい歯磨きの仕方を学んでもらうため、毎年開催されています。

始めに「虫歯がなぜできるのか?」という紙芝居と、虫歯を作るバイキンが好きなおやつの話聞き、その後歯科衛生士による歯磨き指導を受けました。園児たちは普段とは違う歯磨きの仕方に苦労しながらも、必死に練習。また年長組の園児は、ブランク染め出し液を使い、磨き残しがないかを確認しながら歯を磨きました。

練習を終えた園児は「今日から上手に磨きたい」「歯を大切にしたい」と笑顔で話しました。

### 競走馬の美しさに感動

#### 大山ヒルズ見学会

伯耆町真野にある競走馬トレーニング施設「大山ヒルズ」で6月25日、施設見学会が開催されました。

大山ヒルズは、2003年3月にオープンしたノースヒルズグループの競走馬トレーニング施設で、現在約130頭の競走馬のトレーニングを行っています。

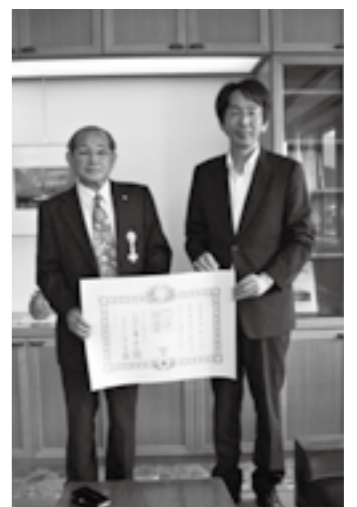
見学会は、施設の紹介・調教の見学などが行われ、馬見せでは、今年3月に開催されたドバイワールドカップ2着馬のトランセンD号など4頭の紹介を受けました。参加者は普段見ることができない競走馬を前に、「きれい」「すごい」と感激しきりでした。



競走馬を見学する参加者

### 永年の功績が評価され

#### 瑞宝双光章受賞



受賞を祝い町長と記念撮影をする南葉さん

前伯耆町消防団長の南葉正明さんが、平成23年春の叙勲(瑞宝双光章)を受賞されました。

南葉さんは、昭和38年に溝口町消防団に入団以後、47年1か月の永きにわたり消防人として幾多の災害に対し、常に第一線にたつて奮闘努力し被害の軽減に尽力。その功績が顕著であるため、この度の受賞に至りました。

受賞おめでとうございます。

(南葉さんの消防歴)

- 昭和38年4月10日 溝口町消防団入団
- 平成7年4月1日 溝口町消防団団長
- 平成16年5月1日 鳥取県消防協会理事
- 平成17年1月1日 伯耆町消防団団長
- 平成18年5月16日 鳥取県消防協会副会長
- 平成20年5月2日 鳥取県消防協会会長
- 平成20年5月2日 日本消防協会理事・代議員
- 平成22年4月30日 伯耆町消防団退団

## スイカの夏スタート

### 伯耆のスイカ初出荷

待ちに待った伯耆町特産の『スイカ』が、6月30日にJA八郷支所選果場で初出荷を迎えました。

今年は、雪の影響で定植が遅れたり、交配の時期の低温などにより生育の遅れなどが心配されていきました。しかし、27日に行われた査定会で玉太りや甘さが十分であることが確認され、初出荷に至りました。

この日は、2軒の農家で生産された350玉のスイカを出荷。大きさを形、縞模様付き方などにより等級別に箱詰めされ、広島県の青果会社に出荷されました。

今年、約30,000玉を目標に、鳥取県内や広島県、岡山県に出荷される予定です。



色や形、果肉の状態を確認する検査員(査定会)



初出荷を迎えたスイカ

## 伯耆町第6分団優勝

### 西部地区消防ポンプ操法大会



1位に輝いた第6分団の演技

第53回鳥取県西部地区消防ポンプ操法大会が、7月3日米子市流通町の鳥取県消防学校屋外訓練場で開催されました。

この大会は、消防団員の技術の向上と土気の高揚を図り、消防活動の進歩充実に寄与することを目的に、毎年実施されています。

伯耆町からは第3分団がポンプ車の部に、第6分団が小型ポンプの部に出場し、第3分団が第5位、第6分団が1位でした。みごと1位に輝いた第6分団から指揮者の大島英樹さん、一番員の澤田雄三さん、二番員の秋鹿智さん、三番員の渡部真広さんが番員賞を受賞しました。

## 心をこめて選手をサポート

### 第31回全日本トライアスロン皆生大会

毎年恒例の鉄人レースが今年も開催され、自転車コースとなっている伯耆町では、約80人のボランティアが選手の健闘を支えました。

ボランティアは、大山平原ゴルフクラブ前から丸山集落下の半川別れ交差点まで計12か所のコースポイントと、植田正治写真美術館前に設置されたエイドステーションに分かれ、選手の誘導や飲食物の提供などを行いました。

エイドステーションでは、ボトルに飲み物に移したり、果物を切り分けたり、水をかけたりして心をこめて選手をサポートしました。



選手に水をかけるボランティア